

家庭クラブ通信

☆我らの紫根染をつなぐ

今年の1月に大船渡ツバキ協会の会長山下哲夫氏から、「東日本大震災の復興の際、切らなければいけなくなった椿を有効活用してほしい」と炭に焼いて「椿灰」にしたものをいただきました。本校の紫根染の記事を見た山下氏が、是非、紫根染に活用してほしいと送ってくださったものです。



山下会長と櫻家庭クラブ会長

本校では、紫根染の先媒染の媒染液として椿灰を使用しています。

今回は、大船渡産の椿灰を使うこととなります。大船渡ツバキ協会さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

【先媒染について】

7月14日（木）5・6校時、2学年で紫根染の先媒染を行いました。全員で協力しながら、合計48枚の絹布のポケットチーフを媒染することができました。



媒染の様子



【絞り模様について】

8月25日（木）6校時には絞り模様を施します。9月1日（木）に紫根染をします。紫根染を行う際に絞る模様は6種類あります。

2年生の皆さんにも体験していただくので、どの絞り模様にするのかを楽しみに考えてみてください。

染め方（絞り模様を入れる）			染め方（絞り模様を入れる）		
①洗濯ばさみ	②棒絞り	③巻き上げ絞り	④根巻絞り	⑤折り絞り	⑥板締め絞り